

# 足元のベトナム株式市場の動き

【世界的な株安の中で、バリュエーションが魅力的なベトナム株式】

## ベトナムVN指数動向

### ベトナム中銀の利上げについて

#### 対米ドルでの通貨安に対応し政策金利を1%引き上げ

- ベトナム中銀はインフレの進行を抑え込み、対米ドルでの自国通貨安を抑えるため、2022年10月24日に今年2回目となる1%ポイント幅の政策金利引き上げ（前回は9月23日）を決定し10月25日から実施しました。再割引金利（リファインスレート、短期有価証券を担保に商業銀行に資金を貸し出す際の金利）は5.0%から6.0%に引き上げられました。また、公定歩合（短期有価証券を買い取る際の金利である基準割引率）も3.5%から4.5%に引き上げられました。
- 利上げの背景としては、対米ドルで過去最安値の水準を更新しているベトナムドンの下落があり、それに歯止めをかけることが狙いとみられます。ベトナムの通貨制度は管理フロート制が採用されており、中央銀行が介入することで為替レートを一定の水準に保っています。ベトナム中央銀行は10月24日に対米ドルレートを約2.0%ベトナムドン安へと調整しました。現在の公定レートの許容変動幅は±5.0%としています。

#### ベトナムVN指数の今後の見通し

- 今後数ヵ月間は、世界的な金利上昇、その影響で株価下落や景気後退、新興国通貨安といった懸念材料が想定されます。ベトナム経済は健全な成長力を有しており、民間企業は政府からの強力なサポートを受けています。ベトナムVN指数は、足元下落していますが、ベトナムの経済ファンダメンタルズからすると、現在のVN指数の株価収益率（PER）が10倍程度というのは低位で魅力的な水準と考えられます。
- ベトナム経済のファンダメンタルズは健全であることから、短期的には株式市場での調整含みの展開となる可能性はありますが、潜在成長力が6%を上回る成長が期待されるベトナムにおいて、株価の下落は投資魅力度を高める可能性があると考えています。

#### ベトナムVN指数推移

(期間：2020年12月末～2022年10月21日、日次)



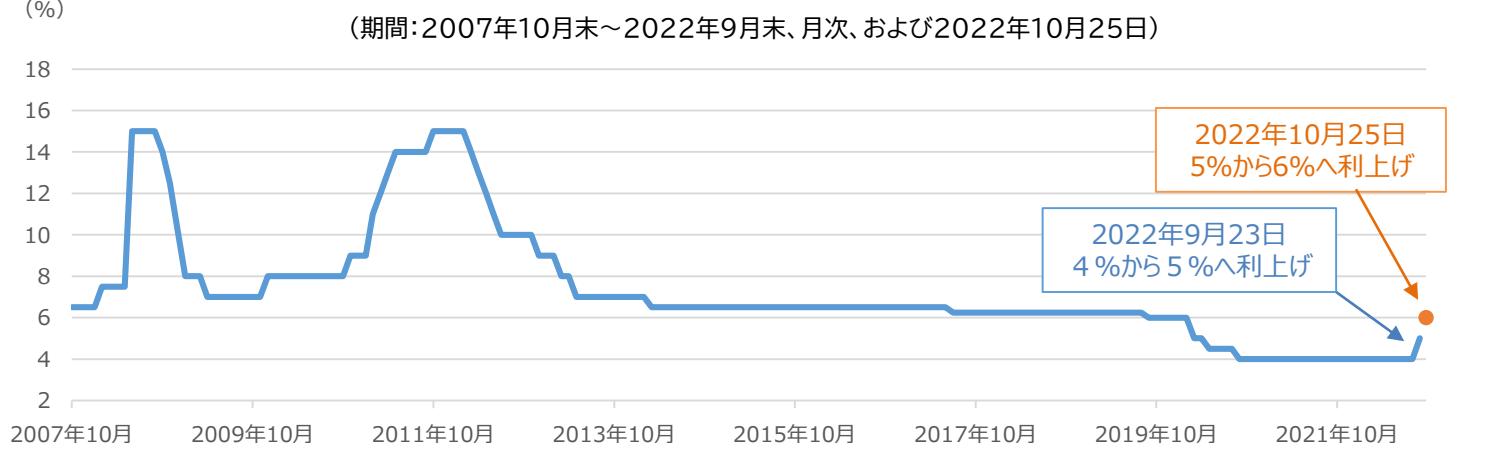
#### ベトナムドンの為替レート推移

(期間：2020年12月末～2022年10月21日、日次)



#### ベトナムの政策金利推移

(期間：2007年10月末～2022年9月末、月次、および2022年10月25日)



## 株価バリュエーションの割安感強まる

- 足元のPERは9.7倍と過去5年間の下限付近を推移し、平均値である15.7倍を大きく下回っています。今後、堅調な企業業績や経済成長が見込まれるため、割安感による国内外からの資金流入とともに、ベトナム株式市場は回復基調となることが期待されます。

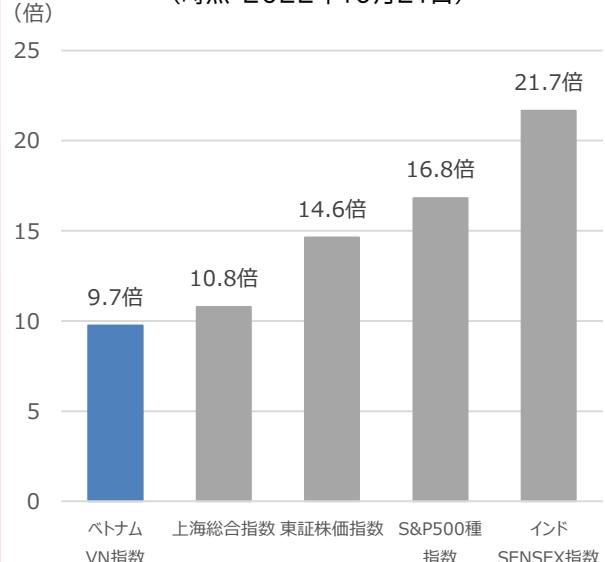
ベトナムVN指数のPER推移

(期間:2017年9月30日~2022年10月21日、日次)



ベトナムVN指数と他国の株式市場のPER比較

(時点:2022年10月21日)



出所：ブルームバーグのデータをもとに明治安田アセットマネジメント作成

### ＜ご留意事項＞

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 当資料に指標・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権・その他一切の権利は、それを作成・公表している各主体に帰属します。